

令和 7 年度

第 1 回
庄内町総合教育会議

議 事 録

令和 7 年 10 月 24 日

庄内町教育委員会

令和7年度 第1回 庄内町総合教育会議 議事録

1 会議日程 令和7年10月24日(金)

開会 午後1時

閉会 午後2時35分

2 会議場所 庄内町役場 B棟 会議室1

3 内 容

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1)教育行政にかかる課題について

(2)その他

4 閉会

4 出席者

(構成員)

庄内町長

富堅 透

教育長

佐藤 真哉

教育委員

梅木 均 (第一職務代理者)

教育委員

齊藤 雅子 (第二職務代理者)

教育委員

飯刈 義晃

教育委員

石崎 喜美子

(職員)

総務課長

鶴巻 勇

子育て応援課長

堀 純子

子育て応援課課長補佐

相馬 真紀

子育て応援課子育て支援専門員

佐藤 秀樹

(事務局)

教育課長

清野 美保

社会教育課長

佐藤 直樹

教育課課長補佐兼学校再編整備室長

菅原 光博

社会教育課課長補佐

佐々木 信一

社会教育課課長補佐兼図書館長

佐藤 晃子

教育課学校教育係長

長谷部 奈津

教育課教育施設係長

齋藤 俊一

社会教育課社会教育係長

齋藤 克弥

教育課教育総務係長

池田 省三

5 欠席者(構成員) なし

6 傍聴者 なし

開 会	(午後 1 時)
教育課長	(事務局欠席者 3 名の報告) 令和 7 年度第 1 回庄内町総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。それでは、これより総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、はじめに富樫町長からご挨拶いただきたいと思います
富樫町長 (以下町長)	今年度第 1 回目の総合教育会議ということで、教育委員全員出席という中で、特に石崎委員は今回初めてということもございますので、新鮮な目線でこれまでの経験を活かしていただければと思います。去年は水害があり、猛暑でした。今年は一部の地域で、夏前までは水不足ということもありましたが、庄内町では大きな心配もなく、秋の収穫も豊作が見込まれています。一方で、今年は熊ですね。本町でも先日、人的被害があり、生活に支障が出てきている状況です。庄内町で現在取り組んでいる小中学校、学童、幼稚園などを取り巻く環境整備について、今日も協議題になっているようですので、何よりも子ども達にとって何が一番良い環境なのか考えていく必要があると思います。国際交流についてですが、先日ハワイの山形県人会さんが訪問してくださいました。庄内町がホノルル市との友好都市協定を締結することもあり、非常に期待が高まっているところです。本日は限られた時間ではありますが、庄内町の子供たちが、より良い環境の中で学び、活動できることに向けて、有意義な会議にしたいと思います。 よろしくお願いいたします。
教育課長	ありがとうございました。それでは、進行は町長お願いします。
町長	次第に沿って進めさせていただきます。3 協議 ①教育行政にかかる課題について まずは、子育て応援課と社会教育課から説明をお願いします。
子育て支援専門員	(資料 1 について説明)
子育て応援課課長 補佐	(資料 2 について説明)
社会教育課長	(資料 3 について説明)
町長	それぞれ子育て応援課と社会教育課から説明がありました。教育委員の皆様からご提案やご意見ご質問があればお願いします。
飯淵委員	資料 2 の P4 になりますが、学童保育所の広さが施設によって違うのは、どのような基準で作られたのでしょうか。学童保育が始まった頃は、子育て応援課は無かったと思いますが、当時の資料などはありますか。
子育て応援課課長 補佐	古い建物もございますが、当時も国が定めた一人当たりの面積基準があり、当時の利用人数から施設の面積を決定したと思います。
飯淵委員	余目地域は、小学校が 4 つあるため、学童保育所の面積が小さいということで良いですか。
子育て支援専門員	5 つの学童保育所の中で一番古いのが、第三学区「ふれあいホームひまわり」昭和 45 年建築となります。こちらは、元々児童館として建てられたものですが、それを学童保育所へ転用したものです。第一学区の「ふれあいホーム家根合」については、元々民家だったものを町が寄付を受けたものですが、第 1 学区で学童保育所を探していた時にちょうど良い場所にあったので、そのまま学童保育所で使用することにしました。それから第四学区「ふれあいホーム和合」は、小学校の中にあります。小学校の元々の図工室を転用させてもらっています。60 m ² ととても狭いですので、放課後に家庭科室や体育館を使ったりしている状況です。つづいて、「立川さんさんクラブ」ですが、こちらは元々保

	<p>健センターとして使用していた建物を学童に転用しましたので、面積としては大きくなっています。それから一番新しい施設として第二学区の「ふれあいホーム払田」ですが、こちらは平成31年に建築されましたが、一人当たりの専用面積を1.65㎡以上として、利用人数から現在の面積になったという経過がございます。</p>
齊藤委員	<p>自分が子どものころの放課後を考えますと、今みたいに学校が終わったから帰りなさいと言われなかった記憶があります。放課後に友達や上級生と遊んだりした楽しい記憶があります。今の子どもたちは安全上の面もあって、すぐ学校から帰らなくてはいけないのかなと思っていますが、学童保育所で放課後の自由な時間が取れば、一番思い出になって良いと感じていました。学童保育所の意見交換会に参加しましたが、個人的には余目1箇所、立川1箇所が良いと思いました。選択制でどちらか選べればと思います。どうしても家に帰るとゲームをしてしまうので、メディアから離れる貴重な時間だと思います。学校施設を利用するのであれば、図書館を開放してもらうとか、また新小学校は町立図書館や響ホールにも近いので、色々な使い方はできると思います。都会の方には、英語が学べる学童があるとお聞きしました。時々で結構なので、そういった楽しみの時間もあるような学童保育所になれば楽しいと思います。また、「ふれあいホーム払田」が空くのであれば、特別支援の子が利用する施設になれば、大変ありがたいと思います。</p>
子育て応援課課長 補佐	<p>子どもたちの学童保育所での過ごし方ですが、学校が終わって学童に来ますと、少し遊びの時間を設けています。その後、宿題の時間、おやつの時間、それからまた遊びの時間になります。天気の良い日は外で遊んだり、支援員の先生とカルタや将棋をしたりなど昔の遊びも取り入れて遊んでいるようです。現在も家庭的な雰囲気第一にしていますが、先日の意見交換会で出されました魅力ある学童保育所の運営を目指して取り組んでいるところです。</p>
石崎委員	<p>私は以前余目四小の支援員をしていましたので、春休みに学童保育所のお手伝いをしたことがあります。学童のスタッフも少人数で対応していてすごく大変だと感じました。体育館や講堂を使うことができたので、子どもたちにとっては発散する場所があり、また、外のグラウンドや畑などもあり学校の中の学童保育所はとても良いと思いました。ただスタッフの人数に限られていますので、あまり野放しにもできませんし、安全面も考慮する必要があると感じました。先日の立川会場の学童保育に関する意見交換会に参加しましたが、学校施設を使用したいという意見があり、私も経験上とても有効だと思いました。立川地域の学童保育所は現在も広いのですが、立川小学校に学童保育所が出来れば、子ども達の声も聞こえますし、施設も全て使用できますし、とても利用価値があると思います。維持費や運営費の問題はあるとは思いますが、小学校在余目になるのであれば、学童はこちらに作れたら良いと思います。</p>
子育て応援課課長 補佐	<p>4学区の学童保育所につきましては、地域の方々との連携が大変強いということで、委員からもありましたが、地域の方が畑の先生になり、様々な野菜を植えて育てながら収穫までしています。良い運営ができていると思います。子ども達も楽しくて学童から帰りたくないと言っているそうです。立川小学校への移転については、現在の施設も改修したばかりですので、今後の検討課題になるかと思っています。</p>
梅木委員	<p>今回の資料をいただいて、ここまで計画が進んでいるということで驚きました。学童保育所を統合して、場所をどこにするのか、今までの繋がりを継続していくのかなど、私の頭の中ではまだ整理ができないのですが、資料の中で</p>

	<p>1 点目として実際に学童保育所で働いている方の声は果たしてどうなのかと。日頃から毎日子どもたちの姿を見ているわけですから、色々と感じるところがあるのかと思います。その声が資料からは余り伝わってこなかったと感じます。多くの意見交換会をしているようですし、2 月にパブリックコメントの予定のようです。小中学校統合の時もそうでしたが、意見交換会や説明会をしても、決定事項なのかというお話が出てきます。ですので、様々な部門でもっと細かい意見交換をしておかないと、答えが出ないとか説明ができないような気がします。2 点目ですが、まちづくりセンターの計画訪問でお話をお聞きしますと、地域との連携がきちんとしていて、一生懸命やられている。子どもたちの活動も充実していると思います。学童保育所が統合した場合、今まで学童に携わってくれた地域の人たちが継続できるのかということは、やはり見ていく必要があると思いました。先程、新しい施設の建設費などのお話もありましたが、やはり地域で育まれたことは大事にしながら継続していくという方向で考えていくべきだと思います。</p>
子育て支援専門員	<p>資料の補足説明をさせていただきます。昨年 11 月に実施しました学童保育所に関するアンケートですが、今回の資料では保護者の意見のみ掲載しましたが、保護者だけではなく、学童の支援員、教員、地域の方からも回答いただいております。また、当時は新小学校がどうなるかまだ未定でしたので、新小学校の可能性を 3 パターン化してお聞きしたところです。現在は、新小学校の場所も決まりましたので、先程梅木委員からありましたように、改めて細かくお聞きする必要もあるのかと思います。</p>
飯淵委員	<p>このアンケートの段階では、学童保育所への送迎方法などわからない部分が多く、答えにくかったと思います。今後、アンケート調査する場合はその辺もはっきりとしたうえで実施すれば良いと思います。</p>
子育て支援専門員	<p>今後、アンケート調査する場合は、その辺もはっきりとしたうえで実施したいと思います。</p>
梅木委員	<p>意見交換会で、響ホール北側の新小学校敷地に学童保育所を作る場合、交通安全の話は出ませんでしたか。あの付近は、交通量が多くなると思いますので、不安材料になると思います。</p>
子育て応援課課長補佐	<p>先日の意見交換会では、そのような意見はありませんでしたが、委員おっしゃるとおり心配される点だと思いますので、今後検討していきたいと思います。</p>
町長	<p>新小学校建設予定地脇の町道については、新小学校開校までに拡張する計画にはなっています。ただ、送迎時間帯などを考えると時間差を設けるなどの検討が必要だと思っています。</p>
飯淵委員	<p>学童保育所の迎えが集中する時間とか、また新小学校に関しては授業参観などで、駐車スペースが不足することもあると思います。現在の立川小学校ではまちづくりセンター駐車場に駐車可能ですので、響ホールの駐車場を利用しやすいようにするなど、教育委員会と連携して進めていただければと思います。</p>
子育て応援課課長補佐	<p>飯淵委員のご意見は了承しました。新小学校については、来年度から教育委員会で基本設計に入ることでしたので、いただいたご意見も参考にしながら連携して進めていきたいと思います。また、本日資料の中で学童保育所の施設数ですが、町の素案としては 3 つとしておりますが、先日の意見交換会のなかでも、2 つのほうが良いのではというご意見がありました。ですので、今後またアンケート調査を再度実施する予定であり、今後最終決定という流れに</p>

	なりますのでよろしくお願いします。
飯洩委員	保護者の学童保育所への送迎についてですが、ガソリン代の負担が大きいと思いますので、長期休みの対応なども含めて、検討いただければと思います。
子育て応援課課長 補佐	送迎の件、学童保育所の選択制の件につきましてもこれからの検討になりますので、ご意見として承りました。
飯洩委員	都内の方では、保育料が高くてパートで働いたとしてもそれで消えてしまうといったような本末転倒なお話もありますので、ぜひよろしくお願いします。
町長	今後の検討材料としては、学童保育所を新小学校の敷地内に別棟で建てるか、あるいは小学校の建物の中にするかですね。委員の皆様からありました送迎やバス、駐車場については改めて検討してもらえればと思います。最後に教育長から一言お願いします。
佐藤教育長 (以下教育長)	放課後の子ども達、主体性を尊重して、自主性そして社会性を向上するための活動になります。そのためには、冒頭説明ありましたが安心安全な居場所を整備することが必要です。入学したくなる学校、通いたくなる学童保育所、そういったことが魅力ある街づくりにつながると思います。余目に一つ、立川に一つなど色々なご意見があるようですが、やはり保護者が安心して、仕事をしながら預けられるということが子ども達の気持ちの安定にもつながると思います。ですので、選択制というのも保護者の勤務地などを考慮して、良いと思いました。また、現在土曜日は1か所のみ受け入れですので、2か所にして通いやすくするとか、送迎を楽にすることが、これも子どもの安定につながると思います。学童保育所が学校に隣接、または学校内にあれば、移動がありませんので、事故等防犯上のリスクは低くなると思います。先程からありますように、周辺の渋滞や事故がないような周辺整備が非常に大切になると思っているところです。あとは、地域との連携が大切です。放課後に関してもいろいろな地域の方々の力をお借りしながら、子ども達に多様な体験や活動をさせてあげたいと思います。よろしくお願いします。
町長	以前、体験型の放課後子ども教室が良いという話をお聞きました。本町にもアドベンチャークラブのような団体があります。風車村には先日ツリーハウスも完成しました。風車村をプレイパーク的な位置づけにしたいということで、人が集まるような仕掛けづくりをやっていきたいと思っています。子ども達も屋内でのゲームだけではなく、週末や休みの日などキャンプファイヤーや芋煮会、虫採りなど色々な、ここでしかできない自然体験ができればと思っています。では、この議題はここで終了します。次に進みます。中学生海外研修事業について事務局から説明をお願いします。
教育総務係長	(中学生海外研修事業参加者決定までの経緯と合格者について報告)
飯洩委員	出身小学校ごとの人数はどうなっていますか。
教育総務係長	一小 2 名、二小 2 名、三小 1 名、立川小 1 名となっています。
教育長	私は日本語面接を担当しました。英語面接は ALT の先生にお願いしたところですが、面接の設問については一緒に考えました。終了後に英語面接の感想をお聞きしたのですが、やはり学校以外でも英語を習っている子は、どんどんと色々な話ができたようでした。やはり英語の教育を推進するというか学校の授業だけではなく、プラスして力を入れていくべきと感じました。
町長	今後のスケジュールはどうなっていますか。
教育総務係長	11 月 28 日に保護者同伴の説明会を予定しています。なお、本事業につきましては、今後教育委員会定例会でも、随時報告させていただきます。

教育長	参加者も決まりましたので、事前研修を行いながら、良い内容にしていきたいと思います。そして帰国後の報告会もあります。子ども達には、良い経験をしてもらって来年度につなげていけたら良いと思います。
町長	議員の皆様からは、もっと参加者を増やしたらどうかという意見もいただいていますので、しっかりと結果を残してもらえればと思います。 この件については、よろしいでしょうか。まだ、時間ありますので、ほかに委員の皆様からありましたらお願いします。
飯淵委員	先程、町長の挨拶にもありましたが、熊対策についてです。今週立川小学校管内では、スクールバス以外は各家庭で送迎しています。そこで、例えば熊対策になるものを各拠点に置くなどの対応をお願いしたいと思います。
町長	昨日今日と同じような話を県の方にもしてきたところです。熊が出てからの対応ではなく、何故これほど熊が出るのか実態を把握していただくとともに、出てこないような仕掛けづくりが、一番大事だと思います。バスの対応はどうなっていますか。
学校教育係長	24 日から 6 日間ですが、冬季スクールバスの集落で臨時運行を実施しています。本町でも先日人的被害があったということで、みんなの声にも児童生徒の安全確保のために、スクールバスで送迎を希望する意見がありました。教育委員会としましては、スクールバス対応しても停留所から自宅までは歩く必要があるため、スクールバスが必ずしも安全とは捉えておりません。そのため、保護者の送迎が一番と考えますが、ほとんどの保護者が仕事をしているわけですから、熊が出たのでのすぐ迎えに来てほしいというのは、難しいことも承知しております。まずは警察とも連携して、パトロールを強化しながら安全確保に努めていきたいと考えます。
町長	一日でも早く良い対応ができるように情報を集めて共有していきたいと思います。予定時間を超えておりますので、進行を事務局にお返しします。
教育課長	本日は様々なご意見を頂戴しましたので、今後の町の施策にも反映できるよう検討を進めていきたいと思います。これで、第 1 回総合教育会議終了とさせていただきます。ありがとうございました。
閉会	(午後 2 時 35 分)